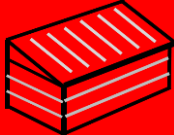


ごみダイエット大作戦 アクションプログラム（令和7年度版）

1 全体管理 	2 水切集中 燃せるごみの ごみ質検査と搬入検査 	3 水切集中 広報活動 	4 水切集中 生ごみの水切り 徹底 
5 水切集中 生ごみ処理器の普及 	6 水切集中 朝の水切り確認 	7 水切集中 食品ロス対策 	8 水切集中 ごみ説明会・見学会 の開催 
9 水切集中 事業系ごみの 減量化・資源化と適 正排出の促進 	10 水切集中 子どもたちへの 環境教育 	11 水切集中 ごみの5R推進 ポスター&標語、 ごみの水切りアイデア の募集 	12 ポイ捨て 不法投棄対策 
13 ごみステーションの パトロール活動 	14 小型家電リサイク ルの強化 	15 リユース品の普及 	16 プラスチックごみ 対策 



水切り集中プログラム



シボルンジャー

三浦市の排出する可燃ごみは水分率が高く、焼却処理に大きな負担をかけている状況から、将来に向けてより安定的な処理を目指すため、可燃ごみの水分対策に特化した「ごみダイエット大作戦水切り集中プログラム」を策定しました。市民及び事業者の皆さまのより一層のご協力をお願いいたします。上記「ごみダイエット大作戦水切り集中プログラム」に該当する取組には、



を付けています。

ごみダイエット大作戦 アクションプログラム

(令和7年度版)

市民の皆さま、日頃よりごみの適正分別、清潔な生活環境を維持するための清掃活動など廃棄物行政に多大なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。

ごみ処理につきましては、令和2年3月からスタートした横須賀市との広域化により効率化が図られ、現在、私たちの排出する可燃ごみは、横須賀ごみ処理施設（エコミル）で適切に、そして安定的に焼却処理されています。

しかしながら、この広域処理の中で浮かび上がった課題があります。それは、私たちの排出する可燃ごみの水分率が高く、焼却処理に大きな負担をかけている状況です。水分が多く含まれることで、燃焼効率が低下し、焼却コストの増加やCO2排出量の増加に繋がります。将来に向け、より安定的な処理を目指すためには、三浦市として可燃ごみの水分対策に努めていく必要があります。

そこで、令和6年12月に、可燃ごみの水分対策に特化した「ごみダイエット大作戦水切り集中プログラム」を策定し、水分率を50%以下にすることを目標とし、集中的に可燃ごみの水分対策に重点を置いて取り組んでおります。

そして、このたび同プログラムに加え循環型社会の形成に向けて、私たちが行っていくべき取組を「令和7年度ごみダイエット大作戦アクションプログラム」としてまとめました。

市民の皆さま、事業者の皆さまの小さな取組の積み重ねが、大きな成果を生むことを信じています。三浦市が持続可能な社会を築くために、ぜひ皆さまのより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月1日
三浦市長 吉田 英男



担当部署：廃棄物対策課

[illegible]

水切集中

担当部署：環境センター

[illegible]

水切集中

担当部署：廃棄物対策課

事業内容	「燃せるごみ」の水分対策を中心にごみダイエット大作戦アクションプログラムの取組、国や県の新たな施策なども必要に応じて市民の皆さまに広くお知らせするために、各種媒体を活用して広報活動を行います。													
	①広報紙「三浦市民」				②ホームページ				③LINEを活用した情報発信					
	④ごみステーションチラシ				⑤収集車アナウンス				⑥区長会回覧				⑦市民まつり啓発ブース	
	⑧環境学習（出前授業）				⑨啓発用動画の制作									
効果	水分対策・ごみの5Rの意識向上													
スケジュール	取 組 項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	「三浦市民」への掲載	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ホームページ、LINEによる情報発信	適宜実施												
	STチラシ、収集車アナウンス	適宜実施												
	区長会回覧		○											
	市民まつり啓発ブース出展								○					
	環境学習（出前授業）				適宜実施									
	啓発用動画の制作・公開		製作			公開								

担当部署：廃棄物対策課

事業内容

担当部署：廃棄物対策課

事業内容

担当部署：廃棄物対策課

業内容

担当部署：廃棄物対策課

			水切集中
--	--	--	------

担当部署：廃棄物対策課

水切集中

担当部署：廃棄物対策課

物として

13 ごみステーションのパトロール活動



担当部署：清掃事業所

事業内容	ごみステーション（収集場所）は市内に約1,100ヶ所あり、その管理は利用者である市民の皆さまで行っていただいておりますが、管理する上で発生する問題は、多種多様です。例えば「イエローカード（未分別用）」や「レッドカード（粗大ごみ用・産廃用）」を貼られ残されたごみが、ごみステーションに溢れてしまうという問題が市内では頻繁に発生しています。それらの問題解決を利用者の皆さまだけに任せるのではなく、適正な管理を維持するために、定期的に職員によるごみステーションのパトロール隊を出動させて、違反ごみの対応、来遊客等のポイ捨てごみの対応など利用者の皆さまと一緒に実施していきます。													
効果	ごみの適正分別													
スケジュール	取 組 項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	イエローカード・レッドカード貼付													
	パトロール隊の出動													
	排出者への指導	適宜実施												
	粗大ごみ・産廃への対応			○		○			○				○	
	回収実績報告の広報												○	

14 小型家電リサイクルの強化



担当部署：清掃事業所

事業内容	平成25年に「小型家電リサイクル法」が施行され、小型家電に含まれる有用な希少金属（レアメタル）のリサイクル回収が始まり、三浦市においても市内5ヶ所に回収ボックスを設置しています。現在、回収したスマートフォンやノートパソコン等の小型家電の対象品は、選別作業を行った後、リサイクル業者へ売却しています。更なる資源化の推進を図るために、回収ボックスの増設、「破碎できないごみ」や「不燃ごみ」からの選別作業及び広報等により小型家電リサイクル量の増加を図ります。													
効果	資源化の推進（資源物売却による増収）													
スケジュール	取 組 項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	回収ボックス増設に向けた協議													
	回収ボックス設置										○			
	現場選別作業													
	協定事業者とのPR活動				○						○			
	回収実績報告の広報													○

15 リユース品の普及



担当部署：廃棄物対策課

事業内容	環境センターには、家の片付けや引っ越しに伴う大量のごみが搬入されてきますが、それらの中には、まだまだ使える物がたくさんあります。そこで、Reuse（リユース）再使用に関する情報発信を積極的に実施していくとともに、それらに修理や多少のメンテナンスを施し「リユース品」として市民の皆さまに還元するイベントを市民まつりに合わせて開催します。													
効果	ごみの5R（リユース）の推進													
スケジュール	取 組 項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	イベントの市民周知					○	○	○						
	リユース品のストック													
	イベント開催									○				

16 プラスチックごみ対策

担当部署：廃棄物対策課

事業内容

プラスチックごみは、近年マイクロプラスチックによる海洋汚染の問題をはじめ、SDGsの観点から世界的な規模で対策が求められていますが、『海業』を提唱する三浦市にとっては、海洋資源の保全にもつながる重要な取組となります。

今年度も民間事業者との連携により、令和5年度から市内に設置している給水ポイント（ウォーターサーバー）の増設を検討するとともに、マイボトルの普及に向けた新たなPR方法も検討し、プラスチックごみ対策を積極的に取り組みます。

また、製品プラスチックの一括回収については引き続き実施に向けた検討を続けます。

効果

ごみの減量化・資源化の推進

スケジュール

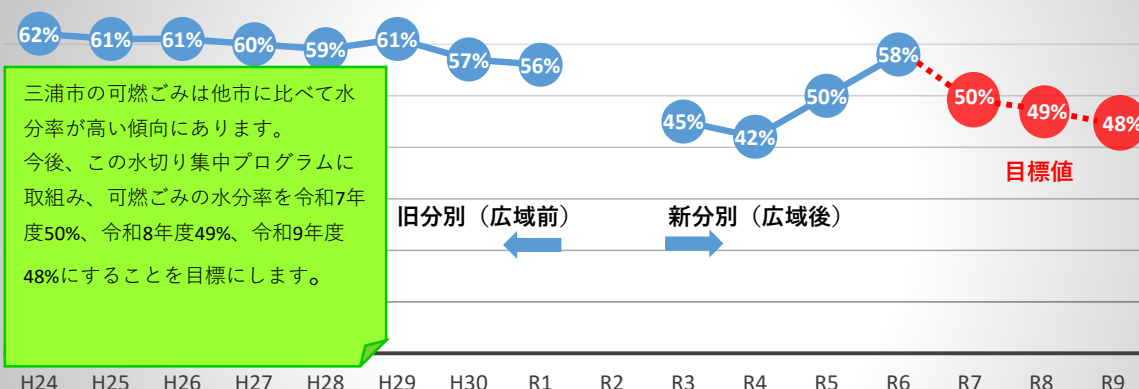
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給水ポイントの増設検討	適宜実施											
市民周知					○							
新たなPR方法の検討												
製品プラスチック一括回収の検討	適宜実施											

ごみダイエット大作戦水切り集中プログラム(令和6年度策定)

三浦市は令和6年度に可燃ごみの水分対策に特化した「ごみダイエット大作戦水切り集中プログラム」を策定しました。令和7年度の1年間で水分率を50%以下にすることを目標とし、集中的に水分対策に取り組んでいます。（目標値：令和8年度49%、令和9年度48%）

目安として各世帯で一日当たり約70g（1食あたり約24g→スプーン2杯程度）の水切りをしていただくと、目標の水分率50%以下になる見込みです。市民の皆さま、事業者の皆さまのより一層のご協力をお願いいたします。

可燃ごみ水分率の推移と今後の目標

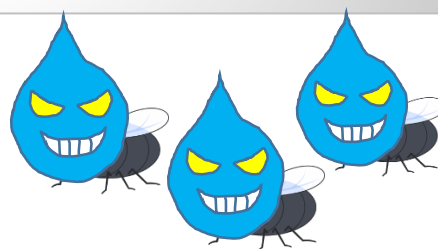


シポルンジャー



ネンショータ

VS



スイブンブン